



# 平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 6 日

上場会社名 株式会社トクヤマ

(コード番号：4043 東証、大証第 1 部)

(URL <http://www.tokuyama.co.jp/>)

代 表 者 代表取締役社長 中原 茂明

問合せ先責任者 広報グループリーダー 油谷 邦久 TEL：(03) 3499-8023

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

◎固定資産の減価償却費の方法

(1) 有形固定資産 : 年度見込額のうち当第 3 四半期分を計上しています。

(2) 無形固定資産 : 年度見込額のうち当第 3 四半期分を計上しています。

② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容)

◎一部の連結子会社において、従来売上原価として処理していました物流費用及びシステム関連費用を、当連結会計年度より販売費及び一般管理費で処理する方法に変更しています。

③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結子会社（新規） 1 社

## 2. 平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 17 年 12 月 31 日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 3 月期第 3 四半期	193,044	11.1	16,759	40.9	14,880	56.7	9,496	92.0
17 年 3 月期第 3 四半期	173,826	6.7	11,893	25.6	9,497	45.8	4,946	87.2
(参考)17 年 3 月期	237,552	8.3	18,172	37.7	15,338	65.9	11,012	82.4

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 3 月期第 3 四半期	36.43	—
17 年 3 月期第 3 四半期	19.44	—
(参考)17 年 3 月期	43.01	—

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の業績は売上高、営業利益とも前年同期実績を上回りました。

#### <化学品>

各製品とも概ね堅調に推移しました。特に苛性ソーダ、イソプロピルアルコール等は原燃料価格の高騰を吸収すべく製品価格の是正に努めました。

また、新第一塩ビ(株)、ならびにフィルム事業のサン・トックス(株)も原料価格の上昇や補修費等の増加を補うべく価格是正に努めました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は 758 億 4 千万円（対前年同期比 8.9%増）、営業利益は 57 億円（対前年同期比 8.2%増）となりました。

#### <特殊品>

多結晶シリコンは旺盛な需要を背景として好調に推移しました。乾式シリカは中国・韓国を中心として活況が続いていますが、湿式シリカは競争激化により低迷しました。

半導体・液晶向け高純度薬品の出荷は順調に推移しましたが、原料価格の高騰や減価償却費の増加もあり収益は伸び悩みました。ファインケミカル、窒化アルミニウムは引き続き新規分野の開拓に取り組みました。

臨床検査システムの(株)エイアンドティーは競争激化により低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は542億8千万円(対前年同期比12.2%増)、営業利益は105億9千万円(対前年同期比77.2%増)となりました。

<セメント建材その他>

セメントは民間建設需要の回復、災害復旧に伴う公共投資増もあり出荷量は持ち直しましたが、収益面につきましては石炭価格の上昇をコストダウンや価格是正によりカバーするには至りませんでした。一方、資源環境事業は建設発生土等の廃棄物受入拡大が寄与し、業績を伸ばしました。

樹脂サッシ事業のシャノングループは関東以西への拡販に注力し増収となりましたが、原材料コストや拡販のための固定費増により収益は伸び悩みました。

以上の結果、当セグメントの外部顧客に対する売上高は629億1千万円(対前年同期比12.8%増)、営業利益は27億7千万円(対前年同期比1.1%減)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	359,362	173,058	48.2	630.01
17年3月期第3四半期	316,832	127,975	40.4	503.25
(参考)17年3月期	308,924	134,395	43.5	528.35

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	21,526	△18,641	13,673	31,352
17年3月期第3四半期	21,458	△13,796	△10,007	20,049
(参考)17年3月期	25,618	△15,772	△17,393	14,800

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下の通りです。

総資産は前連結会計年度末に比べ504億3千万円増加し、3,593億6千万円となりました。

増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の増加168億1千万円、受取手形及び売掛金の増加80億6千万円、たな卸資産の増加38億8千万円、固定資産では投資有価証券の増加162億3千万円などです。

負債は前連結会計年度末に比べ112億6千万円増加し、1,819億5千万円となりました。

増減の主なものは、流動負債では支払手形及び買掛金の増加57億9千万円、コマーシャルペーパーの減少30億円、固定負債では、長期借入金の減少51億6千万円、繰延税金負債の増加62億8千万円などです。

株主資本は前連結会計年度末に比べ386億6千万円増加し、1,730億5千万円となりました。株主資本比率は48.2%と4.7ポイント増加しました。

増減の主なものは、平成17年10月～11月に2,070万株の株式を発行したことに伴う資本金の増加107億円と資本剰余金の増加106億9千万円、また利益剰余金の増加78億9千万円、その他有価証券評価差額金の増加92億6千万円などです。

(キャッシュ・フロー計算書)

営業活動によるキャッシュ・フローは、215億2千万円の収入(前年同期比0.3%増)となりました。主な内容は、税金等調整前当期純利益150億9千万円(前年同期は82億6千万円)、減価償却費130億6千万円(前年同期は135億6千万円)、売上債権の増加による収入減79億7千万円(前年同期は73億2千万円の収入減)、たな卸資産の増加による収入減38億2千万円(前年同期は3億円の収入減)、仕入債務の増加による支出減56億7千万円(前年同期は69億3千万円の支出減)、法人税等の支払増36億1千万円(前年同期は25億8千万円の支払増)などです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、186億4千万円の支出(前年同期比35.1%増)となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出173億2千万円(前年同期は123億5千万円の支出)です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、136億7千万円の収入(前年同期は100億円の支出)となりました。主な内容は、株式の発行による収入213億9千万円(前年同期は無し)、借入金及びコマーシャルペーパーの純支出58億5千万円(前年同期は35億4千万円の純支出)です。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、期首に比べ165億5千万円増加し、313億5千万円となりました。

(参考) 四半期個別業績概況 (平成17年4月1日～平成17年12月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	125,529	10.8	11,728	73.2	10,792	97.9	7,169	50.6
17年3月期第3四半期	113,260	5.0	6,772	△1.8	5,453	19.2	4,759	103.7
(参考)17年3月期	155,403	7.1	10,295	8.3	8,688	31.6	7,620	58.3

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	27.50		—	
17年3月期第3四半期	18.71		—	
(参考)17年3月期	29.71		—	

### 3. 平成18年3月期の連結業績予想 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)

平成17年11月10日の中間決算発表時に公表した平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成18年3月期連結業績予想数値の修正

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
前回発表予想(A)	260,000		22,000		18,500		11,500	
今回修正予想(B)	260,000		23,500		20,000		13,000	
増減額(B)-(A)	—		1,500		1,500		1,500	
増減率(%)	—		6.8		8.1		13.0	
前期(平成17年3月期)実績	237,552		18,172		15,338		11,012	

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 49円20銭

(注) 1株当たり予想当期純利益(通期)は、平成18年3月末時点における予想期中平均株式数(264,210,197株)により計算しております。なお当第3四半期末の発行済株式数は274,693,129株です。

(参考) 平成18年3月期個別業績予想数値の修正

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
前回発表予想(A)	168,000		15,000		13,000		8,000	
今回修正予想(B)	170,000		16,500		14,500		9,500	
増減額(B)-(A)	2,000		1,500		1,500		1,500	
増減率(%)	1.2		10.0		11.5		18.8	
前期(平成17年3月期)実績	155,403		10,295		8,688		7,620	

[業績予想に関する定性的情報等]

原材料価格の高騰により製造コストが上昇しましたが、一方では出荷増による生産性の改善や固定費削減などの合理化効果に加え、化学品や特殊品における価格是正の進捗もあり、営業利益、経常利益、当期純利益は前回予想を若干上回る見込みです。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 四半期連結（要約）損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自 17. 4. 1 至 17. 12. 31〕	前第3四半期 〔自 16. 4. 1 至 16. 12. 31〕	増 減	(参考)前 期 〔自 16. 4. 1 至 17. 3. 31〕
	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	193,044	173,826	19,217	237,552
II 売上原価	132,575	123,213	9,361	167,432
売上総利益	60,469	50,612	9,856	70,120
III 販売費及び一般管理費	43,710	38,719	4,990	51,947
営業利益	16,759	11,893	4,865	18,172
IV 営業外収益	2,682	2,419	262	4,028
1. 受取利息及び配当金	424	319	105	372
2. 雑収入	2,257	2,100	157	3,655
V 営業外費用	4,561	4,815	△ 254	6,862
1. 支払利息	1,229	1,483	△ 254	1,889
2. 雑支出	3,332	3,332	△ 0	4,973
経常利益	14,880	9,497	5,382	15,338
VI 特別利益	1,066	812	254	2,721
VII 特別損失	856	2,049	△ 1,193	4,331
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	15,090	8,260	6,829	13,728
法人税等	4,946	2,512	2,433	1,407
少数株主損益(減算：△)	△ 647	△ 802	154	△ 1,309
四半期(当期) 純利益	9,496	4,946	4,550	11,012

### (会計処理方法の変更)

一部の連結子会社において、従来売上原価として処理していました物流費用及びシステム関連費用を、当連結会計年度より販売費及び一般管理費で処理する方法に変更しています。

この変更は、情報システム部門の分社化と物流連結子会社への物流業務委託の増加に伴い、当該費用の金額的重要性が増してきたことから、当該連結子会社以外の物流費用及び情報システム関連費用との整合性を図り、経営指標等を適切に表示することを目的として行ったものです。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当連結会計年度の売上総利益が5,043百万円増加していますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

また、セグメント情報に与える影響はありません。

## 四半期連結（要約）貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (17.12.31)	前第3四半期 (16.12.31)	増 減	(参考)前 期 (17. 3.31)
	金 額	金 額	金 額	金 額
資産の部				
I 流動資産	141,796	120,065	21,730	112,756
1. 現金及び預金	31,839	19,830	12,009	15,028
2. 受取手形及び売掛金	72,979	65,793	7,186	64,918
3. たな卸資産	26,831	22,901	3,929	22,943
4. その他	10,145	11,540	△ 1,394	9,865
II 固定資産	217,566	196,767	20,798	196,168
1. 有形固定資産	143,630	142,817	813	140,318
(1) 建物及び構築物	37,751	39,169	△ 1,418	38,023
(2) 機械装置及び運搬具	66,539	66,697	△ 157	65,312
(3) 土地	29,263	28,317	945	28,059
(4) その他	10,075	8,632	1,443	8,923
2. 無形固定資産	1,988	1,759	228	1,900
3. 投資その他の資産	71,946	52,189	19,756	53,949
(1) 投資有価証券	58,824	41,290	17,534	42,591
(2) その他	13,121	10,899	2,222	11,358
資産合計	359,362	316,832	42,529	308,924
負債の部				
I 流動負債	95,775	94,498	1,276	81,823
1. 支払手形及び買掛金	40,776	38,244	2,531	34,976
2. 短期借入金	17,474	15,665	1,808	14,833
3. その他	37,524	40,588	△ 3,063	32,012
II 固定負債	86,174	91,025	△ 4,850	88,860
1. 社債	30,000	34,800	△ 4,800	34,800
2. 長期借入金	31,506	37,474	△ 5,967	36,670
3. その他	24,668	18,751	5,916	17,389
負債合計	181,950	185,524	△ 3,573	170,683
少数株主持分	4,353	3,332	1,020	3,845
資本の部				
I 資本金	29,975	19,273	10,701	19,273
II 資本剰余金	34,191	23,496	10,694	23,496
III 利益剰余金	87,421	73,450	13,970	79,521
IV その他有価証券評価差額金	22,919	13,166	9,753	13,651
V 為替換算調整勘定	△ 893	△ 1,149	256	△ 1,242
VI 自己株式	△ 555	△ 262	△ 293	△ 306
資本合計	173,058	127,975	45,083	134,395
負債、少数株主持分及び資本合計	359,362	316,832	42,529	308,924

## 四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔自 17. 4. 1〕 至 17. 12. 31〕	前第3四半期 〔自 16. 4. 1〕 至 16. 12. 31〕	(参考)前 期 〔自 16. 4. 1〕 至 17. 3. 31〕
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	15,090	8,260	13,728
減価償却費	13,062	13,567	18,336
売上債権の増加額	△ 7,971	△ 7,329	△ 6,489
その他	1,345	6,959	43
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,526	21,458	25,618
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 17,320	△ 12,358	△ 16,510
出資金の払込による支出	△ 1,631	-	-
その他	310	△ 1,438	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,641	△ 13,796	△ 15,772
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	21,393	-	-
その他	△ 7,720	△ 10,007	△ 17,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,673	△ 10,007	△ 17,393
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6	71	24
V 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	16,551	△ 2,274	△ 7,522
VI 現金及び現金同等物の期首残高	14,800	22,215	22,215
VII 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	108	108
VIII 現金及び現金同等物の四半期（期末）残高	31,352	20,049	14,800

## セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自 17. 4. 1 至 17.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	75,847	54,283	62,912	193,044	—	193,044
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,237	42	6,525	7,806	(7,806)	—
計	77,085	54,326	69,438	200,850	(7,806)	193,044
営業費用	71,383	43,732	66,664	181,780	(5,494)	176,285
営業利益	5,702	10,594	2,773	19,070	(2,311)	16,759

前第3四半期(自 16. 4. 1 至 16.12.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	69,658	48,375	55,792	173,826	—	173,826
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,112	100	5,021	6,234	(6,234)	—
計	70,771	48,475	60,813	180,060	(6,234)	173,826
営業費用	65,501	42,498	58,008	166,008	(4,075)	161,932
営業利益	5,269	5,977	2,805	14,052	(2,158)	11,893

(参考)前期(自 16. 4. 1 至 17. 3.31)

(単位：百万円)

	化学品 事業	特殊品 事業	セメント建材 その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	95,771	67,155	74,626	237,552	—	237,552
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,508	114	6,968	8,591	(8,591)	—
計	97,279	67,269	81,594	246,144	(8,591)	237,552
営業費用	88,714	58,040	78,337	225,092	(5,712)	219,379
営業利益	8,565	9,229	3,257	21,051	(2,878)	18,172

### 2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているためその記載を省略していません。

### 3. 海外売上高

当第3四半期(自 17. 4. 1 至 17.12.31)

(単位：百万円)

	アジア	その他	計
I 海外売上高	21,659	7,579	29,238
II 連結売上高			193,044
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.2	3.9	15.2

前第3四半期(自 16. 4. 1 至 16.12.31)

(単位：百万円)

	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	18,825	7,482	26,308
II 連結売上高			173,826
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.8	4.3	15.1

(参考)前 期(自 16. 4. 1 至 17. 3.31)

(単位：百万円)

	ア ジ ア	そ の 他	計
I 海外売上高	26,657	10,671	37,328
II 連結売上高			237,552
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.2	4.5	15.7

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。  
 2. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。  
 3. 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア…中国、韓国、台湾  
 (2) その他…欧州、北米